



栄光の未来

R6.4.10 発行

第2号

令和6年度入学式 式辞(抜粋)

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

新入生の皆さんは、期待と希望、不安や緊張など、様々な思いを抱きながら今日という日を迎えたのではないのでしょうか。今日から3年間の中学校生活がスタートします。今後の人生に大きな影響を与える大切な3年間になるはず。皆さんの今後の人生を実り豊かなものにするために、これからの3年間でぜひ有意義で充実した日々にしてもらいたいと思います。

さて、今日から東石山中学校の一員となった皆さんに、知っておいてもらいたいことがあります。それは、東石山中学校がどんな学校かということです。

東石山中学校は現状維持に甘んずる学校ではありません。常によりよいものを求めて、慣例や前例にとらわれずに挑戦し続ける学校です。困難や不安があっても、簡単にはあきらめずに、力強く歩みを進める学校です。

「挑戦」を続ける学校に入学した皆さんに、特に期待することがあります。それは、皆さん自身の手で学校を創ってってもらいたいということです。学校生活の主役は生徒です。大人がつくった枠にはまり、大人が敷いたレールの上を進むだけの学校であってはなりません。「生徒の手による学校づくり」を力強く推し進める一員となり、自分たちの力で理想の学級や学年、学校をつくってほしいと思います。

そのためには、自分や自分たちはどうありたいのか、それを自問し、自身でその答えを見つけることが大切です。ありたい自分や自分たちの姿、つまり「目指す姿」を意識するところから、成長に向けた挑戦が始まります。

その際、「これでいいのか」「なぜこれが必要なのか」「よりよくするためにどうすればよいか」を常に考え、行動を起こしていくことが大切になります。皆さん一人一人が自分の意思と責任のもとで判断・決定していく「自己決定」の姿勢が、成長への挑戦につながるものであり、その勇気を皆さんに求めたいと思います。

様々な挑戦において、間違いや失敗はつきものです。しかし、それは何の問題もありません。なぜなら、間違いや失敗は結果ではなく、成長につながる過程だからです。間違いや失敗を恐れて何もしなければ、そこに成長はありません。勇気とチャレンジ精神をもち、皆さんの力で充実した学校生活を創り上げていくことを期待しています。

新入生の皆さんがこれからの学校生活の中で、互いに認め合い、支え合い、高め合いながら、たくましく成長してくれることを大いに楽しみにして、式辞といたします。



「入学の喜び」を堂々と述べる新入生代表の渡邊翔斗さん(右)緊張感をもち、真剣に式に臨む新入生の姿(左)



新入生の入学を祝い、歓迎する気持ちを込めて、2・3年生全員で校歌を披露しました！